

事務事業名 麦出荷者部会運営費補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：427

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050104-06-348
基本事業：	01	農業の持続的経営への支援と担い手づくり	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	地域計画策定集落数（計画期間内累計） 新規就農者数（計画期間内累計） 認定農業者数		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和63年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
JA筑紫麦出荷者部会			麦作技術の向上を目的に組織された麦出荷者部会の活動を支援するため補助金を交付する。 < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 < 活動内容 > 品質向上対策（土壌診断・ほ場現地調査・品質分析）、研修会実施 ・JA全農ふくれん麦部会現地視察研修会 ・播種前研修会 ・福岡の麦・大豆づくり生産者研修会 ・中間管理講習会 ・管内麦ほ場及び管外視察研修会						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）						
麦出荷者部会員の技能が向上するとともに、麦の品質向上、規模拡大及びコスト低減等が図られている。									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
麦の検査数量		個/kg	18,491	12,321		15,000			20,000
会員数		人	42	42	55	55			60
5. コスト									
事業費		計	千円	220	220	220	220		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	220	220	220	220			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	782	802	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,002	1,022	1,058	220			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		< 状況 > 麦の検査数量は、前年度と比較して約3割減となっている。 < 原因 > 3月中旬から4月中旬にかけて降雨が続いた影響から、湿害により収穫量が減少したため。会員数については、新規加入が伸び悩んでいるため。 < 課題 > 麦の生育は気候に影響されるが、実需者の求める数量と品質を保つため、生産技術の向上と圃場条件の改善に取り組む必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	会員の高齢化が進む一方で、新規会員の加入が進まないことが課題となっている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性					維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
新規加入者の増加を図るため、筑紫農協と連携して部会の活動の周知を図っていく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
高品質麦の生産・規模拡大及び生産コストの低減等に取り組むとともに、視察研修を重ね麦作の振興を図る。					高品質麦の生産により販売の競争力が高まる。				